

広島平和記念資料館 令和3年度第1回企画展

焼け跡 **もの** 語り



ナゼ、私ハコンナ姿ニナラナケレバナラナカッタノ？

2021.9.17(金) ~ 2022.2.13(日)

会場 広島平和記念資料館 東館 1階 入場無料

開館時間 9月~11月 8:30-18:00 / 12月~2月 8:30-17:00 (入館は閉館30分前まで)

休館日 12月30日(木)・31日(金)

焼け跡 物の語り



①

おしゃれなふたが残る化粧品の瓶、中身がまだあるビール瓶、モダンなデザインの時計——焼け跡に残っていたこれらのものを見ると、人々が暮らしの中にささやかな楽しみや癒しを求めるのは、戦時下だった76年前も今も同じであるように思われます。たとえひどく変形していても、当時の人々が私たちと同じ感覚を持って暮らしていた部分があることを感じさせます。

本展では、原爆の後、広島焼け跡で見つかったものを手がかりに、当時の人々の暮らしや思い出をたどります。

ものを変形させた原爆の威力のすさまじさを紹介しつつ、焼け跡に残っていたものが人々にとってどんな意味を持っていたのかを紹介します。



②



③



④



⑤

- ① 注ぎ口が溶けて中身が残ったままのビール瓶(森岡信義寄贈)
 - ② 焼け跡で拾い集められた銚子とさかずき(武田シヅコ寄贈)
 - ③ 薬剤師だった母親の形見の分銅(大前茂樹寄贈)
 - ④ 妻の遺骨と一緒に掘り出した置時計(小川春蔵寄贈)
 - ⑤ 高温の熱線により表面が融解・蒸発した爆心地の瓦(菅謙一寄贈)
- チラシ表 自宅の焼け跡で見つけた化粧クリームの瓶(中村利代寄贈)

【問い合わせ先】

広島平和記念資料館 学芸課
TEL 082-241-4004 FAX 082-542-7941
〒730-0811 広島市中区中島町1-2

※新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、
開館状況が変更になる場合があります。
ホームページで最新情報をご確認ください。

当館HPはこちら

